

第3学年1組 英語科学習指導案

令和2年11月11日（水）

浜田市立第一中学校

授業者 教諭 佐々木美保

ALT Jojie Agno

1. 単元名 Unit 6 Striving for a better world

(NEW HORIZON ENGLISH COURSE 3)

2. 単元の目標

フィリピンの子供たちに伝えるために、浜田市にゆかりのある著名人について、詳しい情報を加えながら説明する文を書くことができる。

3. 単元の評価基準

	知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
書くこと	・接触節、関係代名詞(主格、目的格)の特徴やきまりを理解している。 ・接触節、関係代名詞、調べたことを紹介文として書く技能を身に付けている。	フィリピンの子供たちに伝えるために、浜田市にゆかりのある著名人について、調べた内容をもとに自分が伝えたい内容を整理し、まとまりのある紹介文を書いている。	フィリピンの子供たちに伝えるために、浜田市にゆかりのある著名人について、調べた内容をもとに自分が伝えたい内容を整理し、まとまりのある紹介文を書こうとしている。

4. 学習の基盤

(1) 教材観

本単元は、世界平和に貢献したノーベル平和賞受賞者たち、その中でもアウンサンスーチーの半生を紹介する教材である。生徒が本単元で紹介されている人たちについて知識をもつことで、生徒たちの日常生活と社会、世界との関わりなどについて考えるきっかけを与えられる。言語材料は、名詞を詳しく説明する関係代名詞が豊富に使われており、人物を紹介するという題材内容に適している。本文内容を理解しながら、人物紹介文の書き方と合わせて習得させたい。

(2) 生徒観

※個人情報保護のため省略

(3) 指導観

本単元のゴールは母国であるフィリピンの子どもたちに、浜田市についてもっと知ってほしいというALTの思いに応えるべく、浜田市にゆかりのある著名人の紹介文を書くことである。具体的には、ALTが紹介したい「浜田市の人物読本 ふるさとの50人」という冊子から一人を選んで、英語版の紹介文を作り、冊子にまとめてフィリピンに持って帰ることができるようにしようという活動を、単元の最後に行う。ALTの要望に応えるという有用感を、生徒の活動に対するモチベーションにつなげたい。この本については、ほぼ全員の生徒が小学生のときに、海外からきた旅行客のために日本語で紹介文を書くという活動で使用している。今回その英語版を作るという活動は、小学校で学習したことの発展でもあると捉え活動させたい。使用する言語材料は限定しないが、単元の言語材料でもある接触節や関係代名詞などの後置修飾の表現をできるだけ使用することを意識させたい。

また帯活動として、あるテーマについてペアで話し、その後話したことについて書くというSmall Talk and writingという活動を継続して行っている。Unit 6学習時は、Unit 5で学んだ議論の際に用いる表現を引き続き使用し、あるテーマについてのALTの意見を読み、その意見に対しペアで議論し、話したあとに自分の意見についてまとめたライティングを行うという形式にステップアップし、4技能の向上を図りたい。話す、書く活動が難しい生徒もいるが、継続して活動を行うことで少しずつでも自己の成長を感じられるようフィードバックを大切に指導したい。

5. 単元指導計画

時	ねらい (■) ・主な言語活動等 (丸数字)	知	思	態	備考
1	<p>■単元の目標を理解するとともに、身近なものや人について即興で伝え合う。</p> <p>①Warm-Up (Small Talk & Writing 含む)</p> <p>②接触節の意味、書き方を理解する。</p> <p>③身近なものや人について紹介する活動を行う。</p> <p>④本文の内容を理解し、音読練習をする。</p>				<p>記録に残す評価は行わない。ただし、ねらいに即して生徒の活動の状況を確実に見届けて指導に生かすことは毎時間必ず行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても、教師が生徒の学習状況を確認する。</p>
2	<p>■身近な人について、まとまりのある文で紹介する。</p> <p>①Warm-Up (Small Talk & Writing 含む)</p>				
3	<p>・ ②関係代名詞(主格)の意味、書き方を理解する。</p> <p>③身近な人について紹介する活動を行う。</p> <p>④本文の内容を理解し、音読練習をする。</p>				
4	<p>■身のまわりのものについて、まとまりのある文で紹介する。</p> <p>①Warm-Up (Small Talk & Writing 含む)</p> <p>②関係代名詞(目的格)の意味、書き方を理解する。</p> <p>③身のまわりのものについて紹介する活動を行う。</p>				
5	<p>■教科書本文を例に、人物紹介の文の書き方を学ぶ。</p> <p>①Warm-Up (Small Talk & Writing 含む)</p>				
6	<p>・ ②教科書 Part3,4 の文を読み、理解するとともに、アウンサンスーチーの紹介文がどのような構成で書かれているかを学ぶ。</p>				

7 本 時	<p>■身近な人物についての紹介文を書き、まとまりのある人物紹介文の書き方を学ぶ。</p> <p>①Warm-Up (Small Talk & Writing 含む)</p> <p>②前時までで学習した構成に基づき、皆がよく知る身近な人物についての紹介文を書く。</p>				
8 ・ 9	<p>■「浜田市のふるさとの50人」の中から1人を選び、紹介文を書く。</p> <p>①Warm-Up (Small Talk & Writing 含む)</p> <p>②前時までで学習した内容に基づき、紹介文の構成を組み立てる。</p> <p>③構成をもとに、紹介文を作成する</p>	○	○	○	活動の観察 紹介文シートへの記述
後 日	ペーパーテスト、パフォーマンステストやワークシート	○			

6. 本時の学習

(1) 本時の目標

身近な人物について、調べた内容をもとに自分が伝えたい内容を整理し、まとまりのある紹介文を書くことができる。

(2) 本時の展開

時	学習活動	教師の支援	評価基準 (評価方法)
15	<p>○Warm Up</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ ・Small Talk & Writing 	<ul style="list-style-type: none"> ・前時の Small Talk & Writing についてフィードバックし、本時の活動につなげる。 	
30	<p>○本時の目標と流れを確認する。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>身近な人物についての紹介文を書き、まとまりのある人物紹介文の書き方を学ぼう。</p> </div> <p>○紹介文の例を見せ、説明する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日本語の文を読み、英語で紹介文にするという手順を確認する。 <p>○身近な人物について、まとめた構成メモをもとに、英語で紹介文を作成する。</p> <p>○終わった人から、次回以降の活動の原稿を受け取り、構成を練る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・本時の学習への見通しをもてるようにする。 ・生徒とやりとりをしながら確認していく。 ・使用されている言語材料を意識するよう指導する。 ・一人で考えにくい場合は、ペア、グループなどの形をとる。 	<p>本時では、記録に残す評価は行わないが、目標に向けて指導を行う。生徒の学習状況を記録に残さない活動や時間においても教師が生徒の学習状況を確認する。</p>
5	○次回の活動を予告し、確認する。	<ul style="list-style-type: none"> ・単元ゴールとなる活動に向けて、意欲を高め授業を終える。 	

(3) 本時の評価

十分満足できる状況	概ね満足できる状況	支援を要する状況への手立て
調べた内容をもとに自分が伝えたい内容を整理し、自分の意見を加えてまとまりのある紹介文を作成している。	調べた内容をもとに自分が伝えたい内容を整理し、まとまりのある紹介文を作成している。	どのように文章を整理し、まとめて書いたらよいかを一緒に考える。